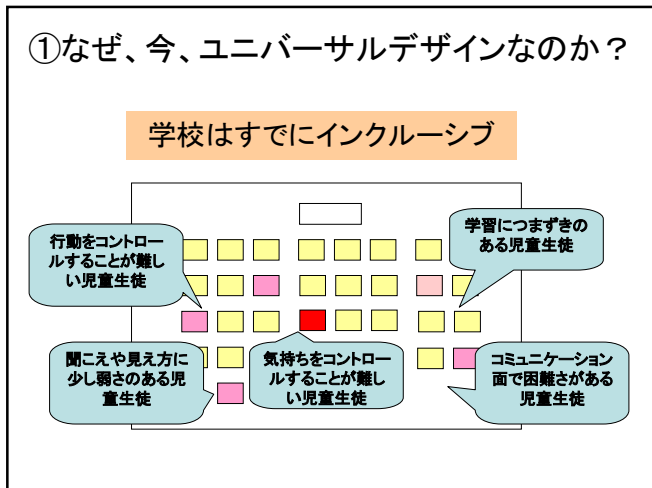




内 容

- ①なぜ、今、ユニバーサルデザインなのか?
- ②ユニバーサルデザインとは?
- ③リーフレットの目的
- ④ユニバーサルデザインの実践
- ⑤リーフレットの期待される効果
- ⑥リーフレットの活用例
- ⑦お知らせ



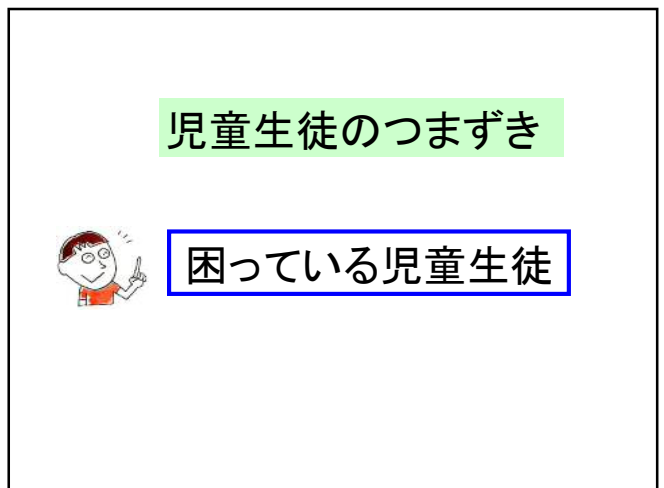
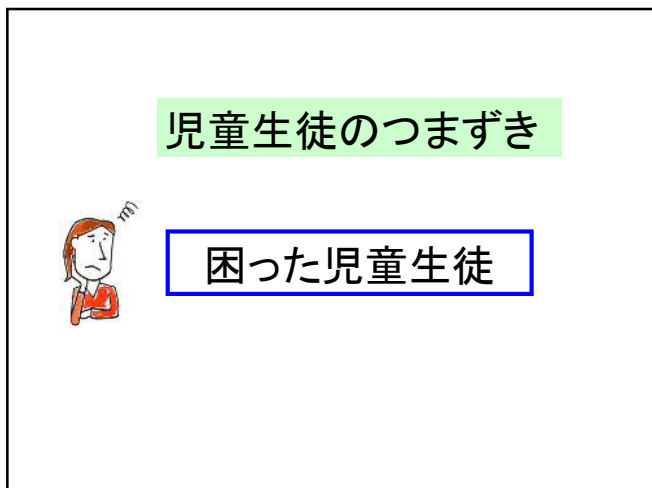
②ユニバーサルデザインとは?

全ての人のためのデザインを意味し、年齢や障害の有無にかかわらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるデザイン

参考「障害者の権利に関する条約」第二条

全ての児童生徒にとって、「生活しやすい」学校・学級環境、「分かる・できる」授業をデザインすること

平成26年度 研究紀要(特別支援班発達障害担当研究)



児童生徒のつまずき

「行動面」「学習面」「コミュニケーション面」等の困難さの背景として

発達障害？

それぞれの障害特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーション障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れ

自閉症(ASD)

広汎性発達障害(PDD)
アスペルガー症候群(ASP)

- 基本的言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用(言語発達に比べて)

注意欠陥多動性障害(ADHD)

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

学習障害(LD)

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体の知的発達に比べて極端に苦手

厚生労働省「発達障害の理解のために」より引用

DSM-5での診断の場合、診断基準や診断名が異なることがあります

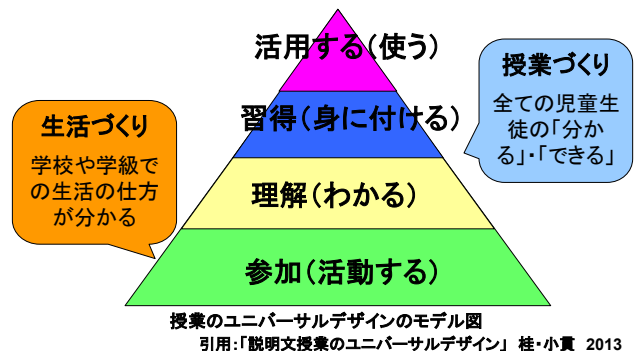
③リーフレットの目的



すべての児童生徒に
「分かった」「できた」
の実感を



④ユニバーサルデザインの実践



生活づくり

生活しやすい環境づくり



- ① 教室の環境整備をする
- ② 学習の準備の仕方を決める
- ③ 学級内のルールを「見える化」する
- ④ 温かい学級づくりを進める

個別の支援

環境を整えても、個別に支援が必要な場合もあります。

その時は、周囲の理解を得ながら支援をします。

授業づくり

「分かる」「できる」授業づくり

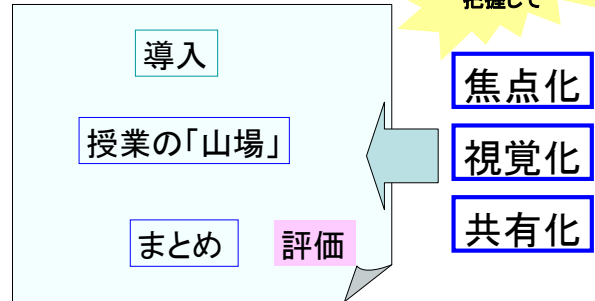
- ①教員の話し方、発問、指示の工夫
- ②板書やノート、ファイルの工夫
- ③教材・教具の工夫
- ④気になる児童生徒の視点に立って授業を見直す

「**焦点化**」「**視覚化**」「**共有化**」

(例)授業づくりのポイント

「**押さえた**」教科のねらい

つまづきのある生徒の実態と学級集団の実態を把握して



指導の工夫

焦点化

「押さえた」ねらいに迫るため、目標や活動を精選する

視覚化

文字化、板書、写真、イラスト、動作化、ICT活用……など

共有化

一人一人の学びを伝え合い、全員に広げ、理解を深める

個別の支援

特性や学習の状況から個別の支援を必要とする児童生徒には、机間指導や、個別のプリントの作成などによって支援をします。さらに必要に応じて、個別に時間と場を設定して指導・支援をします。

支援体制

特別な教育の場

集団の中での個別の支援

集団の中での指導の工夫

児童生徒

⑤リーフレットの期待される効果



研究協力校	効果があった
A小学校	100%
B小学校	87%
C中学校	97%
D中学校	89%

⑤リーフレットの期待される効果 (実践した教職員の感想)



- 「気になる」児童生徒の**実態をよく把握する**ようになった。
- 教科のねらいをよく吟味する**ようになった。
- 授業の山場を考え、**全ての児童生徒が山場に参加できる**ように指導の工夫をするようになった。
- 環境を整えることで、児童生徒の**生活が落ち着いた**。等

⑥リーフレットの効果的な活用例

全教職員が何のために「ユニバーサルデザインの考え方」を活用するのか共通理解をし、統一して実践することです。一つの教室で実践しても効果は上がりません。全ての教室で、全ての児童生徒のために、実践しましょう。

○学校で、学年で「ユニバーサルデザインの考え方」を実践するに当たり、共通理解を図る資料として

○教職員一人一人が自分の実践を確認する、改善するために

○「気になる」児童生徒に対する集団における指導・支援の工夫の一つとして

⑦お知らせ

発達障害に関する研修会について

- ◇ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業
- ◇発達障害の理解と支援
- ◇認知特性に配慮した学習指導
- ◇社会性を育てる指導・支援 など



研修ガイドブックをご覧の上、お申し込みください。